

平成22年度 一般選考 学力検査問題 国語

平成23年 1月20日

問題1 次の文章を読んで、下記の(1)から(3)の問いに答えなさい。

江戸の天才絵師、葛飾北斎の「富嶽三十六景」は眺めていて①アきない。その世界的な名品とともに、北斎は富士山を(ア)川柳に詠んでもいる。〈八の字のふんばり強し夏の富士〉。(イ)蒼れ高い絵と違って、これなら下手の横好きもお近づきになれそうだ。

その富士の「ふんばり」も、この夏はひとしおだったことだろう。なにせ②オオゼイが登った。7月の山開きから8月末までに、山梨側からは約26万人を数え、③クウゼンのブームでにぎわった。静岡側からも14万人を超えた。さすがの「八の字」も、ずいぶん重たい思いをしたに違いない。「いやはや大変だった」は、行ってきた知人の(ウ)開口一番である。えんえん人の背中とお尻を見て登ったそうだ。お正月の初詣で、といった感じらしい。山の④セイジャクより、(エ)祝祭的な雰囲気、登る人も求めているようだったという。

江戸の昔にも富士登山は大流行した。「富士講」と呼ばれた大衆の信仰登山だ。背景には時の⑤バクフへの不満があったというから、歴史はやはり繰り返すのかもしれない。

ところで、あの「八の字」の形を、裾野の広さの割に低いと腐くさしたのは太宰治だった。もう1.5倍は高くなくてはいけないと、こちらは「富嶽百景」に書いている。この名短編で太宰は、富士山をけなしたり、ほめたりと忙しい。

世界に(オ)名峰は多いが、幼児が描いてもすぐそれと分かる山はざらにはない。高低はともかく、単純さと、それゆえの聖と俗が人を様々に引きつける。登ってもよし。眺めてもよし。あつてよかったとつくづく思う、不二の山である。

- (1) 上の文章の(ア)から(オ)の下線部分の漢字の読み方をひらがなで解答用紙に書きなさい。
- (2) 上の文章の①から⑤の下線部分のカタカナを漢字に直して解答用紙に書きなさい。
- (3) 次のページの文を読んで、上の文章の内容と合っていれば○、合っていなければ×を解答用紙に書きなさい。

- (ア) 江戸の天才絵師、葛飾北斎は、世界的な名品「富嶽三十六景」の錦絵の中で、富士山を川柳に詠んでもいる。この句なら熱心な人には親しみやすい。
- (イ) その富士の「ふんばり」も、この夏はひとしおだったことだろう。さすがの富士山も、ずいぶん重たい思いをしたに違いない。7月の山開きから8月末までに、山梨側と静岡側から50万人もの登山者が訪れたのだから。
- (ウ) 江戸の昔にも富士登山は大流行した。「富士講」と呼ばれた大衆の信仰登山だ。現代の世にも不満があるから、人は富士山に登るのかもしれない。
- (エ) 太宰治は、名短編「富嶽百景」で、富士山の形を、裾野の広さの割に低いとけなした。もう1.5倍は高くなくてはいけないと書いている。しかし太宰は、この「富嶽百景」で富士山をほめたりもしている。
- (オ) 筆者は、聖と俗が人を様々に引きつける魅力ある富士山の存在を誇らしく思っている。

問題2 次の文中にある下線を引いたカタカナの部分に漢字に直したとき、もっとも適切と思われるものを、右から選んで解答用紙に記号で書きなさい。

- (1) 裁判所にイギを申し立てる。 A 異議 B 意義 C 異義
- (2) 仏前に花をソナえる。 A 具 B 供 C 備
- (3) 意味シンチョウな話し方をする。 A 慎重 B 深重 C 深長
- (4) お互いイシンデンシンの仲だ。 A 以信電信 B 以深電心 C 以心伝心
- (5) ゴリムチュウの現状を打破する。 A 五里夢中 B 五里霧中 C 五理無中

問題3 次の言葉の反対語として最も適切と思われるものを解答用紙に漢字で書きなさい。

- (1) 過密 (2) 帰結
- (3) 広義 (4) 玄人
- (5) 寒流

平成22年度 一般選考 学力検査問題 国語 解答用紙

平成23年 1月20日

受験番号	系 名	氏 名	得 点
	系		

問題1

(1) 文章の (ア) から (オ) の下線部分の漢字の読み方をひらがなで書きなさい。

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)

(2) 文章の ① から ⑤ の下線部分のカタカナを漢字に直して書きなさい。

①	②	③

④	⑤

(3) 問題の文章の内容と合っていれば○、合っていなければ×を書きなさい。

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)

問題2 カタカナの部分を漢字に直したとき、もっとも適切と思われるものを、記号で書きなさい。

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

問題3 反対語として最も適切と思われるものを、漢字で書きなさい。

(1)	(2)	(3)

(4)	(5)

平成22年度 一般選考 学力検査問題 国語 模範解答

平成23年 1月20日

受験番号	系名	氏名	得点
	系		各2点

問題1

(1) 文章の (ア) から (オ) の下線部分の漢字の読み方をひらがなで書きなさい。

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
せんりゅう	ほま	かいこう いちばん	しゅくさい	めいほう

(2) 文章の ① から ⑤ の下線部分のカタカナを漢字に直して書きなさい。

①	②	③
飽	大勢	空前

④	⑤
静寂	幕府

(3) 問題の文章の内容と合っていれば○、合っていなければ×を書きなさい。

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
×	×	○	○	×

問題2 カタカナの部分を漢字に直したとき、もっとも適切と思われるものを、記号で書きなさい。

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
A	B	C	C	B

問題3 反対語として最も適切と思われるものを、漢字で書きなさい。

(1)	(2)	(3)
過疎	理由	狭義

(4)	(5)
素人	暖流

